



umango

処理の保存先手順書
結合されたテキスト

結合されたテキスト

結合テキストのエクスポート先では、テキスト ファイル データ（例：xml、csv、txt、json など）が作成され、ネットワーク フォルダに配置されます。このコネクタを使用すると、処理されたドキュメントから取得した情報（「ゾーン」と「テキストの結合」）を使用して、ファイルの内容をカスタマイズできます。たとえば、Excel の概要、使用する JSON および XML データを作成するなどの目的があります。

「ゾーン」と「テキストの結合」の詳細については、「ゾーン」と「マージフィールド」の説明書を参照してください。エクスポート先としてネットワーク フォルダを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理の設定で、「保存先」タブをクリックしてください。



保存先のアクセスタブ

2. 「コネクタを追加」ボタンをクリックしてください。



「コネクタを追加」ボタン

3. 「結合されたテキスト」を検索し、「追加」ボタンをクリックしてください。



「結合されたテキスト」の選択

4. ルートフォルダ ディレクトリを入力するか、[青いボタン] をクリックしてルート フォルダ ディレクトリを選択してください。
- ※サーバーが Active Directory の一部である場合は、ルート フォルダを認証されたユーザーのホーム ディレクトリに設定することもできます。

ルートフォルダの設定

5. 必要に応じて、サブフォルダのディレクトリを入力してください。サブフォルダの命名には「マージフィールド」と「ゾーン」を使用できます。

サブフォルダの設定

6. 「テキスト文書」タブをクリックしてください。

「テキスト文書」タブ

7. テキスト ファイルの種類（ファイル拡張子）を入力または選択してください。

設定 ファイルの種類オプション

フォルダ テキスト文書 画像ドキュメント

ファイル名
このフィールドはデータマージをサポートしています

ファイル詳細

- ☒ ファイルが既に存在する場合は、コンテンツを追加します
- ☒ 各ドキュメントの前にキャリッジリターンを挿入する
- ☐ データマージ後のXML/JSONの検証と整形 ①

ヘッダ 体 フッター

オプションのヘッダーテキスト。新しいファイルの先頭に追加

ヘッダーテキスト
ヘッダー行のテキストを入力してください

asc
csv
dat
htm
log
psv
tab
tsv
txt
xml
yaml

✎ 移入

ファイルの種類の選択

8. ファイル名を入力してください。ドキュメント名には「マージフィールド」と「ゾーン」を使用できます。

設定 ファイルの種類オプション

フォルダ テキスト文書 画像ドキュメント

ファイル名
見積書の概要 .CSV

ファイル名の設定

9. ファイル内容の構成を選択してください。

フォルダ テキスト文書 画像ドキュメント

ファイル名
見積書の概要 .CSV

ファイル詳細

- ☒ ファイルが既に存在する場合は、コンテンツを追加します
- ☐ 各ドキュメントの前にキャリッジリターンを挿入する
- ☐ データマージ後のXML/JSONの検証と整形 ①

✎ 移入

ファイルの内容設定

10. ファイルの種類に基づいてファイル内容テンプレートを自動的に作成するには、[移入] ボタンをクリックしてください。

ファイル名

見積書の概要 .CSV

ファイル詳細

☒ ファイルが既に存在する場合は、コンテンツを追加します

☐ 各ドキュメントの前にキャリッジリターンを挿入する

☐ データマージ後の XML/JSON の検証と整形 ①

ヘッダ 体 フッター

オプションのヘッダー テキスト。新しいファイルの先頭に追加

ヘッダーテキスト

"スキャン時間","ユーザー","請求書番号","発行日","請求金額","ファイルの場所"

ファイルの内容テンプレートの自動的に作成

11. 必要に応じてファイルの内容（ヘッダー、本文、フッター）を変更してください。ファイルの内容には「マージフィールド」と「ゾーン」を使用できます。

ファイル詳細

☒ ファイルが既に存在する場合は、コンテンツを追加します

☐ 各ドキュメントの前にキャリッジリターンを挿入する

☐ データマージ後の XML/JSON の検証と整形 ①

ヘッダ 体 フッター

本文の文書データを結合する

本文

<<ImportDateTime>>,<<ProcessorUser>>,<<請求書番号>>,<<発行日>>,<<Replace[<<請求金額>>],<<請求金額>>]>>,<<ゾーン>>

ファイル内容の変更

※テキストファイルのみが必要で、処理済みのドキュメントもエクスポートしない場合は、手順 16 に進んでください。

12. 処理済みのドキュメントもエクスポートする場合は、「画像ドキュメント (1)」をクリックし、「ドキュメントを別のファイルとして含める (2)」リストにチェックを入れて、「ファイル名 (3)」を入力してください。



ドキュメントを別のファイルとして含める

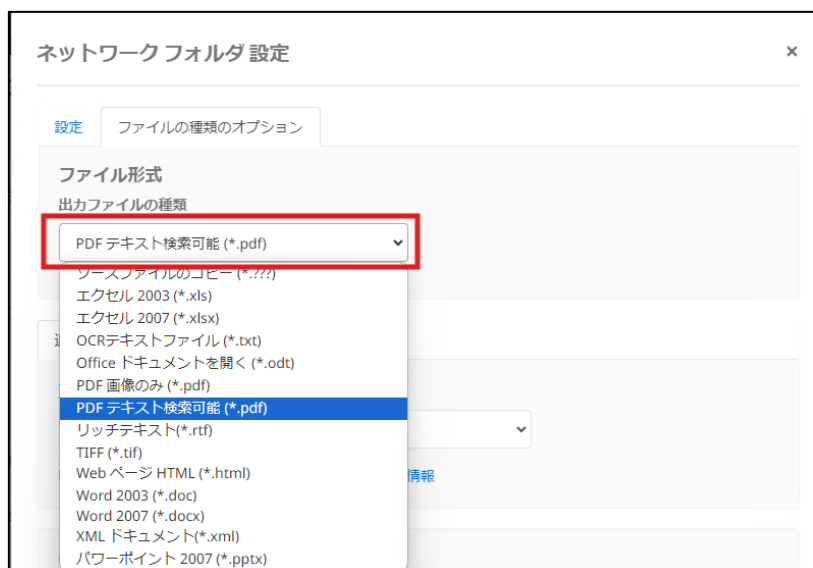
※テキストファイルのみが必要で、処理済みのドキュメントもエクスポートしない場合は、手順 16 に進んでください。

13. 「ファイルの種類オプション」タブをクリックしてください。



「ファイルの種類オプション」タブ

14. ドキュメントをエクスポートするファイルの種類を選択してください。



ファイルの種類の選択

15. ファイルの種類に応じて詳細設定を行ってください。ファイルの種類の詳細設定の詳細については、「ファイルの種類のオプション」の説明書を参照してください。

設定 ファイルの種類のオプション

ファイル形式

出力ファイルの種類

PDF テキスト検索可能 (*.pdf)

適合性 レンダリング メタデータ

適合性 ① 暗号化 ①

PDF/A-1b (バージョン 1.4) 暗号化なし

暗号化された PDF ドキュメントのオプションに関する情報

OCR オプション

OCRエンジン 精度の見返り

ABBYY 速い 正確

保存 キャンセル

ファイルの種類の詳細設定

16. 「保存」ボタンをクリックしてください。

保存 キャンセル

「保存」ボタン